

## 三四郎道場の歩み

アソシエーション三四郎道場は、Gilles QUENET と彼の所属していたカンペール柔道クラブとの決裂のあとに誕生しました。この事態に驚いた生徒と父兄の一部の人は、続けて Gilles から指導を受けることを望んで集まり、Gilles の合意のもとに規約を作成し、県庁とフランス柔道連盟に提出しました。それと平行して、活動の場となる道場を作るための場所を探しにかかりました。アソシエーションはこの道場を合理的な方法で出資し使用する為に、合気道の指導者 Gérard DANIEL 氏と連絡を取り、彼のクラブに提案しました。

人口6万5千人の街に、二つ目の道場が出来るということがあたかも厄介な出来事のように、多くの制度からの反対にもあいましたが、場所が見つかるとうちに一ヶ月に及ぶノンストップの工事を開始しました。柔道と合気道の同好の友から畳を借りて、ついに2003年8月29日、第一回目の指導が始まりました。

アソシエーション三四郎道場は2003年7月に設立され、初年度すでに119人の柔道家と、42人の合気道家を登録しました。最初のシーズンは、大変満足のいくものでありました。

道場においては、Cécile VALVERDE がフランスジュニアと大学選手権の最終選考にダブルで選ばれたことを頂点に、県大会、地方大会、地方対抗大会において数々の入賞を果たしました。

同シーズンに6人が黒帯初段、4人が2段、そして1人が4段を取得しました。

合気道においては、Jean-Yves LE VOUREC 6段を招いて県の研修を主催し、50人の参加者が集まりました。

三四郎道場の初公開式は、2003年10月25日（土）に行われ、カンペール市の副市長 Ludovic JOLIVET 氏、l'Office du Mouvement Sportif の会長 Philippe CALVEZ 氏にお越し頂き、その他多数の生徒や父兄の方達も参加しました。

式典では、Gilles QUENET と Yves-Marie CARIOU が古式の形、Yves-Marie CARIOU と Marie-Luce SIMONIN が柔の形を、Gérard DANIEL と Franck LE PAPE が合気道の木剣と杖を披露しました。同じく、道場のロゴ「虎」（西郷四郎のあだ名）も披露しました。

2003年12月6日と7日、大変光栄なことに、三四郎道場の名誉会長、栗津正蔵先生9段を道場にお迎えすることが出来ました。先生は国際柔道界においてとても重要な方で、フランスレーシングクラブで13年間、Gilles の指導者でもありました。

この両日、子供と大人の4つのクラスで、柔道の基本的な要素を大変な正確さで指導してくださいました。先生のカリスマ性と親しみやすさに、参加した全ての人達は驚嘆しました。この機会に栗津先生は、「三四郎道場」「精力善用」「自他共栄」の書を道場に贈ってくださいました。これらの書は、書家の栗津夫人雅号（栗津青潤）によって書かれたもので、道場のしかるべき位置で重要な役割を果たしています。

初年度はソウルとバルセロナのオリンピックチャンピオン Waldemar LEGIEN 氏ソウル1988年では78キロ級、バルセロナ1992年では86キロ級（優勝）6段を6月に迎えて締めくくりました。最初のシーズンの実りある結果の後で、翌年度の2004-2005年度の目標は道場内部の発展と改善に注がれました。

柔道家の数が119人から162人に増加したということは、アソシエーションの柔道指導者たちとボランティアの人達の熱意によるものです。

常に同じ相乗効果で、道場は設立から休むことなく繁栄し続けています。

2008-2009年度には、新たに会員数の増加があり、200人の大台を超えました。6月末に柔道家の数が208人になったということは、重要な意義をなしています。

2012年5月、Gilles は6段に昇段しました。フランスの柔道家として、初めて10段を取得した Henri COURTINE を主審とした5人の高段者（7段以上）による審判は、いづれも最高の評価でした。

この結果をメンバー達と共に祝福する為に、栗津ご夫妻が柔道界でとても有名な格言の書、「七転び八起き」を道場に贈ってくださいました。

そして、道場の運営が安定した3年後の2013年6月、メンバーは220人になりました。

この夏、講道館にて、三四郎道場のもう一人の指導者である佐々木光 Hikari SASAKI-CARIOU もまた、見事に6段に昇段しました。これにより、彼女はカンペールで日本人女性初の6段となりました。

今年度（2014-2015）もまた、6段を取得した二人の指導者を筆頭に、彼らの質の高い指導の恩恵が、私たちの志を高く導いてくれることを願っています。

会員数の増加、結果の向上、柔道に関するイベントの運営はもちろんのこと、特に私達にとって大切なことは、すべての会員が日々三四郎道場に集まり、練習することの喜びを感じることです。

柔道家のみなさん、カンペールにお越しの際は、是非三四郎道場にお立ち寄りください。メンバー一同、心より歓迎いたします。